

# 15 厚生連 村上総合病院

## ● 病院概要

- 開設者名 新潟県厚生農業協同組合連合会 代表理事 田中 納次
- 病院長名 林 達彦
- 標榜診療科目

内科、消化器内科、小児科、外科、神経内科、脳神経外科、産婦人科、耳鼻咽喉科、眼科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、歯科口腔外科、放射線科、リハビリテーション科、心療内科、麻酔科、救急科

使用許可病床数	使用許可病床数	一日平均入院患者数
一般	263床	203人

- 一日平均外来患者数 586人
- 年間手術件数 1,419件
- 病院併設施設 村上総合病院健診センター・訪問看護ステーションむらかみ・村上総合病院居宅介護支援事業所
- 救急告示病院の指定 有
- 学会指定施設の状況

日本消化器病学会関連施設、日本消化器内視鏡学会指導施設、日本肝臓学会関連施設、日本内科学会認定医制度教育関連病院、日本外科学会指定施設、日本消化器外科学会指定修練施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本乳癌学会関連施設、日本外科感染症学会外科周術期感染管理教育施設、日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設、日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設



## 医学生の皆様へ

### 新しい「村上総合病院」でともに学びませんか！

#### ■ 2020年12月に新病院が開院。病院が生まれかわりました。

「診療を受ける皆様に生老病死の全ての局面で寄り添いながら、優しく質の高い医療を提供します。」を理念に2020年12月に新病院が開院となりました。新病院では、これまでの救急告示病院、災害拠点病院、へき地中核病院としての機能に加え、下越医療圏で初めて緩和ケア病床を新設、さらに地域連携センター「つなごうて」を開設することで、回復期機能を充実させ、地域連携、在宅医療のさらなる発展を目指します。

#### ■ 経験豊富な指導医のもと、豊富な救急の症例を経験することで現場力が養えます。

新病院では、救急ワークステーションが併設され、ドクターヘリや防災ヘリを受け入れるヘリポートも増設されました。経験豊富な指導医によるマンツーマンでの指導のもと、ウォークインから救急車、ドクヘリ搬送の患者さんまで豊富な症例を経験することができます。

#### ■ 指導医をひとり占め。丁寧な指導で2年間の研修生活をサポートします。

当院には研修医が少ないからこそそのメリットがあります。指導医がひとり占めできます。納得するまで聞いてください。手厚い指導が受けられます。症例も豊富です。やる気さえあれば多くの症例を経験することができます。一方で、当直回数も含め自由度の高い研修プログラムで仕事と休みのオンオフがしっかりとしているため、ご自分のペースで学ぶことができます。



所在地 〒958-8533 新潟県村上市緑町5丁目8番1号  
 TEL 0254-53-2141 FAX 0254-52-4362  
 HPアドレス <http://www.mgh.jp/>

## ここがポイント！

2020年12月に新病院が開院し病院が生まれかわりました。施設・設備が充実したきれいな病院で研修生活を送りませんか。

## ◆ Access



● JR羽越線村上駅下車、徒歩15分

照会先  
 臨床研修センター  
 TEL 0254-53-2141 (代表) FAX 0254-52-4362  
 E-mail [murakami\\_kensyu@mgh.jp](mailto:murakami_kensyu@mgh.jp)

病院見学の受入 随時  
 申込方法  
 病院ホームページ「臨床研修医募集サイト」上の所定フォームからお申込み頂けます。ご不明な点は、電話、メールいずれからでもお気軽にご照会下さい。

## 研修概要

### 研修プログラムの目的と特徴 (2022年度研修医)

#### ● 目的

- 1.一人の人間として、そして医療人として必要な資質を育み、その理念を育てる。
- 2.将来、全てのプライマリーケアに対処し得る第一線の臨床医・専門医になるための基本的知識・技術を習得する。
- 3.ただ疾患を診るだけでなく、広く社会的な視野に立って診療にあたり、身体的・心理的・社会的な側面まで全人的な対応が取れるような態度と能力を身につける。
- 4.チーム医療の大切さを認識し、他のスタッフと協調し、協力する習慣を身につける。
- 5.診療録などの文書を適切に作成管理し、第三者の評価を受け入れ、自らを生涯発展させる態度を身につける。
- 6.新しい技術・知識を身に付けるための方法論を確立し、学会等に進んで出席し、発表を行なう。

#### ● 特徴

- 1.村上総合病院は、神奈川県に匹敵する広さの地域の皆さんの診療をカバーし、特に救急医療においては救急指定病院として地域の救急搬送の約80%を受け入れています。
- 2.地域医療研修として、村上市の沖合35km、人口約350人の粟島での離島研修があります。
- 3.新病院では下越医療圏では初めての緩和ケア病床を新設。研修では患者さんのQOL維持、向上を目指した全人的医療を学びます。
- 4.患者（医療）=利用者（介護、福祉）に対して各種サービスを「まとめて・まるめて・つなげて・つづける」ことで地域包括ケアシステム、ネットワークの構築を目指しています。研修では多職種でのチーム医療を学びます。

#### ● 研修プログラム

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年目	内科 (20週)				救急 (12週)		内科 (6週)		外科 (5週)	小児科 (5週)	産婦人科 (4週)	
2年目	精神 (4週)	地域医療 (4週)	自由選択 (44週)									

#### ● 協力病院・協力施設

厚生連瀨波病院、黒川病院、瀨賀医院、粟島へき地出張診療所

#### ● 研修医の待遇 (2022年度研修医)

- 1年次月額 基本給 : 350,000円  
 当直手当 : 19,400円/回  
 時間外研修手当: 実働支給\*新潟県厚生連規定により  
 賞与なし
- 2年次月額 基本給 : 380,000円  
 当直手当 : 19,400円/回  
 時間外研修手当: 実働支給\*新潟県厚生連規定により  
 賞与なし
- 2年間20万円まで個人研究費があります。学会出張等に利用できます。
- 勤務体制 勤務時間 日直 : 8:30~17:00  
 当直 : 17:00~ 8:30
- 研修医当直 回数 2~3回/月  
 当直時の勤務体制 (研修医以外の当直医数) 1人  
 (当直研修医数) 1人

当直時の勤務体制(研修医以外の当直医数)1人(当直研修医数)1人  
 当直研修は上級医師と一緒に副当直として入ります。それぞれの到達状況などを考慮し、本人と相談、調整しながらすすめていきます。希望により回数の変更も可能です。

#### ● 研修医の学習環境

居室 総合医局内に広々とした研修医専用室あり。各個人専用のデスク設置。  
 図書・文献 医局図書室は24時間利用可能  
 国内図書 約800冊 国外図書 約300冊  
 国内雑誌 約50種類 国外雑誌20種類  
 医中誌Web利用可能

インターネット環境 各自デスクからインターネット接続可能

#### ● 研修の宿舎の有無など

宿舎 宿舎なし。  
 マンション・アパート等を病院で借り上げ提供。住宅手当として上限50,000円(月額)の家賃補助あり。  
 赴任時の引越費用は病院が負担。

食事 院内にコンビニあり(店内で焼きあげたパンを買うことができる)。月2回地元で人気の料理店(割烹・中華など)の仕出し弁当の提供あり。病院に隣接して大手スーパーあり。